

信州大学農学部、農業体験講座『土と緑の体験講座』

参加者へのアンケート調査

—参加者の農業への関心と非認知能力に及ぼす影響—

東孝明・杉山大地・中村篤・野田健介・畠中洸・渡邊泰生・椎葉湧一郎・今井裕理子・濱野光市・春日重光
信州大学

1 緒言

農林水産省は、農業体験の推進として、「農林漁業体験は、農林水産物の生産現場に関する関心や理解を深めるだけでなく、国民の食生活が自然の恩恵の上に成り立っていることや食に関わる人々の様々な活動に支えられていること等について理解を深める上で重要である」としている。また文部科学省では、少子化や核家族化、デジタル化が進む中で現代の子供たちにはリアルな体験が不足しているとし、令和4年度を「体験活動元年」と位置づけ体験活動推進に取り組んでいる。体験活動については学校教育法等にその促進が記載され、現行の学習指導要領においても体験活動等を通じて、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めることとされている。病院や福祉施設で行われる園芸療法は、自然、植物の心地よい刺激を活用したストレス改善、植物を育てることや植物を用いた創造活動による意欲回復をねらいとしている。体験活動の一つである農業体験は、生産現場の理解、食の知識習得をはじめ、心理変化や人格形成の好影響まで期待される。そこで信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センターで実施している農業体験講座「土と緑の体験講座」において、農業体験が及ぼす参加者の農業への関心と非認知能力への影響について、調査を行った。

2 材料および方法

「土と緑の体験講座」は、信州大学農学部附属AFCが主催する小学生の子供をもつ家族対象の農業体験講座である。2017～2019年度の『土と緑の体験講座』の実施概要が以下のとおりである(表1)。

表1 「土と緑の体験講座」の開催日と作業内容

2017年度開催日	作業内容
5月20日	田植え・サツマイモ苗の定植
6月17日	シクラメンの鉢上げ・イチゴの摘果・リンゴの摘果
7月8日	ブルーベリーの収穫・ジャム作り
8月5日	搾乳体験・バター作り・キャベツの収穫
9月30日	サツマイモの収穫・焼き芋試食・稲刈り
10月14日	リンゴ・ブドウの収穫・ジュース作り・餅つき
10月28日	構内森林散策見学・新米試食
2018年度開催日	作業内容
5月19日	田植え・サツマイモ苗の定植
6月16日	シクラメンの鉢上げ・イチゴの摘果・リンゴの摘果
7月7日	ブルーベリーの収穫・ジャム作り
8月4日	搾乳体験・バター作り・キャベツの収穫
9月29日	サツマイモの収穫・焼き芋試食・稲刈り
10月13日	リンゴ・ブドウの収穫・ジュース作り・餅つき
10月27日	構内森林散策見学・新米試食
2019年度開催日	作業内容
5月25日	田植え・サツマイモ苗の定植
6月15日	シクラメンの鉢上げ・イチゴの摘果・リンゴの摘果
7月6日	ブルーベリーの収穫・ジャム作り
8月3日	搾乳体験・バター作り・キャベツの収穫
9月28日	サツマイモの収穫・焼き芋試食・稲刈り
10月12日	リンゴ・ブドウの収穫・ジュース作り・餅つき
10月26日	構内森林散策見学・新米試食

調査はアンケート調査とし、非認知能力の評価を数値化するため、淡路式園芸療法評価表(Awaji horticultural therapy assessment sheet :AHTAS)を基に体験講座の作業ごとに評価できるよう改良し、行動評価表を作成し使用した(表2)。

